



キズナ

KIZUNA

rice is beautiful

## 食と芸術をコラボさせる運命共同体

春日市

しろみず 和博さん(41)(右)

よしむら 形さん(34)(左)

ち寄り、和博さん親子とよく話をされてきました。その意思を受け継いで、形さんも、絵画教室後に立ち寄って話す中で、形さんが

春日市岡本で「岡本米穀店」を営む白水和博さんと、彫刻家の吉村形さんはいとこ同士。和博さんは大学卒業後、ホテル日航に7年ほど勤め、2代目として実家の家業「岡本米穀店」を継がれました。形さんは、東福岡高校時代にラグビーで花園に出場するほどの実力で、大学までラグビーに没頭。卒業後、父親で画家の吉村郁夫さんの紹介で、彫刻家の豊福知徳先生の門をたたき、彫刻家としての道をスタートさせました。木彫りを専門としながら版画にも興味を持ち、昨年10月には田川市の田川市美術館で個展も開催されました。

米を入れる無地の紙袋を見て、自分の版画を印刷してみたいと試し刷り。版画と紙袋の相性がよく、何か使えないかと考えて、岡本米穀店のロゴを考案して紙袋に印刷することに。この紙袋を活かす米を販売しなければと考えた和博さんは、以前より自信を持って契約していた大分県の「桐木の榎田米」と、日本有数の米の産地、魚沼十日町産の「コシヒカリ」をセットにした「味勝負」を提案し、昨年12月に販売。2人の夢と希望が形になりました。

いとこだけと兄弟のようなお二人は、これからも力を合せてヒット商品を生み出していく!!

吉村郁夫さんの「樫の森美術館」は、熊本県の小国町にあります!!